

2025年度 出題内容の分析と出題の意図

国 語

公募制推薦入試 前期日程

●出題内容

試験時間	60分
出題形式	現代文のみで、長文はいずれも評論文が出題された。 各設問の選択肢は4～5つ程度。
解答形式	マークセンス方式
難易度	いずれの試験日においても本文はやや長めだが、標準的な出題である。
問題の内容（構成）	〔Ⅰ〕長文読解（6,500字程度） 〔Ⅱ〕長文読解（6,000字程度）

●出題の意図

- ・本文は公共性をめぐる哲学的な考え方についての説明文と陰謀論のもつさまざまな特徴を述べた論説文であった。
- ・現代社会をめぐるさまざまな問題について問題意識を持った上で、評論文に述べられている内容を正確かつ論理的に理解できているかどうかを問う問題となっている。
- ・やや長めの文章であっても、最後まできちんと読み通す力を持っているかどうかを試している。

●受験生へのアドバイス

- ・普段からやや長い評論文を読むようにしてほしい。新聞などの論説文・オピニオンは、文章を読む訓練として好適である。
- ・選択式の漢字問題では、同音異義語と間違えないように注意する必要がある。
- ・空欄に語句を補充する問題では、前後の文脈を十分に考えて適切なものを選ぶ必要がある。聞いたことのある語句を考えなしに選ばないようにすること。
- ・文章を読んでいて、知らない言葉、難しい言葉にぶつかった時は、そのつど辞書を引く習慣を身につけて、語彙力をアップする努力をしてほしい。
- ・問いが何を求めているのかに注意を払うこと。例えば、「適切ではないものを一つ選びなさい」という設問が設定されている場合、「適切なもの」を選ぶような間違いをしないこと。

2025年度 出題内容の分析と出題の意図

国 語

一般選抜 前期日程

●出題内容

試験時間	70分
出題形式	現代文のみで、長文はいずれも評論文が出題された。 各設問の選択肢は4～5つ程度。
解答形式	マーク70%・記述30% ※2026年度入試よりマークセンス方式のみに変更
難易度	いずれの試験日においても本文はやや長めだが、標準的な出題である。
問題の内容（構成）	〔Ⅰ〕長文読解（7,000字程度） 〔Ⅱ〕長文読解（6,000字程度）

●出題の意図

- ・本文は先住民族の生活する権利と自然保護の間の軋轢を扱ったものと、小説に表れた日露戦争当時のオリエンタリズムを分析したものであった。
- ・長めの文章であっても、最後まで話の内容についていけるかどうか、ロシアのオリエンタリズムというやや馴染みにないテーマであっても、文章を丁寧に読むことで内容を正確に理解できるかどうかを試している。

●受験生へのアドバイス

- ・長めの文章題が出題されるということに今後も変更はない。新聞などの論説文・オピニオンを読むことで、長文を正確に読む訓練をしてほしい。
- ・言葉の意味を問う問題を正しく解答するためには、知らない言葉に出会った時に辞書で調べる習慣をつけること。
- ・傍線部分の内容をまとめたり、具体的に説明をしたりするような問題では、傍線部分に近いところだけに目をやるのではなく、少なくとも傍線が引かれた文のある段落全体をきちんと理解する必要がある。さらに、解答を書く際には、主語と述語のつながりに矛盾がないかといった点にも注意をすること。2026年度入試からは記述問題はなくなるが、文章の正確な内容理解が求められているという点は変わらない。
- ・文を適切な段落の末尾に入れる問題では、話の流れに注意すること。「両者」という言葉があれば、前に二つのものが指示されている。それは何と何を指しているのかを考える。